

(平成 28 年 5 月試験研究業務月報)

試験研究課題：水稻の生育診断による効率的生産管理技術の開発

研 究

スマホによる水稻生育診断試験、スタート

水稻栽培では草丈や株張り、葉色の濃淡を観察して生育状態を判断した上で穂肥の施用量を決定します。穂肥量の決定は品質や収量に係わる大切な判断が求められる重要な作業ですが、従来は経験や感覚に頼るところが多く、経験の浅い農業者では困難なものでした。

当センターは、昨年、京都大学と共同でスマートフォンのカメラを使って取得した画像から「コシヒカリ」の適正な穂肥量を簡易に求めるアプリを開発しました。今年度は、精度向上や他品種への応用に取り組むこととしており、これに向けて 5 月 22 日に田植えを行いました。



試験用の水稻の移植の様子

農林センター（丹後農業研究所）